# 鎌倉時代

名前

問1　鎌倉幕府を支えた「御恩と奉公」の仕組みにおいて、御家人が将軍に対して果たすべき義務である「奉公」の具体的な内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 高知県公立入試 類似）

1. 執権として将軍を補佐し、幕府の政治や裁判の実務を代行すること
2. 幕府の役職である管領に就任し、将軍の跡継ぎ問題を調整すること
3. 平時に京都や鎌倉の警備を担当し、戦時には軍勢として合戦に参加すること
4. 自分の所有する土地をすべて将軍に寄進し、小作人として耕作に励むこと

問2　鎌倉時代、モンゴル帝国（元）が二度にわたって日本へ襲来した出来事は「元寇」と呼ばれます。この二度の戦いの名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2021年 福岡県公立入試 類似）

1. 文禄の役・慶長の役
2. 文永の役・弘安の役
3. 保元の乱・平治の乱
4. 前九年の役・後三年の役

問3　鎌倉時代の社会において、鎌倉幕府に任命された地頭と、農民や荘園領主との関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）

1. 地頭は天皇から任命された地方官として、幕府の干渉を受けることなく、荘園領主と協力して農民の生活を保護する役割を果たした。
2. 地頭は幕府の権威を背景に現地での支配力を強め、年貢の徴収をめぐって荘園領主と争ったり、農民に武力による不当な要求を行ったりした。
3. 地頭は国ごとに配置され、その国の軍事権を一手に握ることで、農民が荘園領主に反抗しないよう監視することを主な任務とした。
4. 地頭は農民の中から選ばれた代表者であり、荘園領主による過酷な年貢の取り立てを阻止するために幕府から警察権を与えられていた。

問4　鎌倉幕府において、将軍と御家人の間には土地を仲立ちとした主従関係がありました。承久の乱の際、北条政子が御家人たちに対し、亡き源頼朝の恩恵は山よりも高く海よりも深いと説き、幕府軍として団結を求めた背景に関連して、将軍が御家人のこれまでの所領を認めたり、新たな領地を与えたりした行為を何と呼びますか。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 御恩
2. 奉公
3. 寄進
4. 軍役

問5　鎌倉時代の社会情勢を背景とした、僧侶と民衆の対話について考えます。民衆が「これまでの仏教は文字が読めない私には遠い存在だったが、新しい教えは日々の暮らしの中でも実践できる」と語った場合、その背景にある鎌倉新仏教の共通した特徴として適切なものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 救済を受けるための条件として、まず経典をすべて暗記することを求めたこと
2. 貴族のみが知ることを許された特別な儀式を、一般公開して体験させたこと
3. 加持祈祷によって病気を治したり、災いを取り除いたりすることを最大の目的としたこと
4. 特定の修行に専念すれば誰でも等しく救われるという、民衆にとって信仰しやすい教えであったこと

問6　江戸時代の社会において、奉公人は主人から衣食住を保障される代わりに、主家のために労働を提供する「奉公」を行いました。この時代の商家の奉公人の形態として、幼少期から住み込みで働き、後に独立を目指す仕組みを表す用語の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2025年 広島県公立入試 類似）

1. 問屋（といや）として、周辺の農村に家内工業の原料を貸し出す
2. 丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す
3. 地頭（じとう）の下で、名主（なぬし）として村の運営にあたる
4. 代官（だいかん）として、天領の年貢徴収や裁判を担当する

問7　一遍が全国を巡り歩き、民衆に対して行った活動の背景や目的を説明したものとして、正しいものはどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 比叡山延暦寺の古い権威に対抗するため、大規模な寺院を各地に建設し、定住して地域の農業指導を行うことで民衆を支えた。
2. 武士の精神修養に適した厳しい修行を重んじ、幕府の政治顧問として権力者との結びつきを強めることで教勢を拡大した。
3. 中国の宋から最新の教典を持ち帰り、貴族や皇族に対して高度な学問としての仏教を講義することで教えを広めた。
4. 念仏を記した札を受け取ることや、集団で踊りながら念仏を唱えることで、誰もが救われることを示し、爆発的に信者を増やした。

問8　13世紀後半、モンゴル帝国の第5代皇帝に即位し、都を大都（現在の北京）に移して、中国風の「元」という国号を定めた人物は誰か。（2024年 大阪府公立入試 類似）

1. マルコ=ポーロ
2. フビライ=ハン
3. 北条時宗
4. チンギス=ハン

問9　鎌倉時代、北条氏が「執権」という立場から政治を主導した時期の背景や仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. 室町幕府との違いを明確にするため、執権は武士の裁判だけでなく、寺社の管理や天皇の即位にも関与した。
2. 有力な御家人の不満を抑えるため、北条氏は執権の職を北条氏以外の御家人と交代で務める仕組みを作った。
3. 源氏の将軍が絶えた後も、北条氏は自ら将軍にはならず、将軍を補佐する立場のまま実権を握り続けた。
4. 北条氏は朝廷から直接任命されることで、将軍に代わって全国の守護や地頭を指揮する権限を得た。

問10　1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げた承久の乱の後、幕府が朝廷の監視や西日本（西国）の武士を統制するために京都に設置した役所の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 三重県公立入試 類似）

1. 問注所
2. 京都所司代
3. 六波羅探題
4. 遠国奉行

問11　源頼朝が地頭を設置したことによって、武士による社会支配が強まった背景として、地頭の役割を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 幕府の最高責任者として、将軍を補佐しながら政治の実権を握り、連署とともに幕政を運営した。
2. 荘園や公領での土地の管理や、年貢の徴収、治安維持といった実務を担い、武士の経済的基盤を固めた。
3. 室町幕府において将軍の補佐役を務め、有力な守護大名の中から選ばれて政治を統括した。
4. 国ごとに国内の武士を統率し、京都の大番役の催促や謀反人の捜索を主な任務とした。

問12　鎌倉時代の文化に関する記述において、東大寺南大門の左右に配置されている巨大な木像を指し、運慶や快慶らを中心とする仏師たちが短期間で完成させたとされる、力強い写実的な彫刻作品の名称を答えなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 弥勒菩薩像
2. 阿弥陀如来像
3. 金剛力士像
4. 釈迦如来像

問13　13世紀後半、モンゴル帝国（元）の皇帝フビライに仕えたイタリア出身の旅行家が、アジアでの見聞をまとめた著作を記しました。この中で、日本を「黄金の国ジパング」としてヨーロッパに初めて紹介した人物は誰ですか。（2020年 埼玉県公立入試 類似）

1. クリストファー・コロンブス
2. ヴァスコ・ダ・ガマ
3. マルコ・ポーロ
4. マゼラン

# 答え合わせ・解説

| | | |
|---|---|---|
| 問1 | 答え 3<br>平時に京都や鎌倉の警備を担当し、戦時には軍勢として合戦に参加すること | 御家人は将軍から受けた恩恵に報いるため、軍事的な役割を果たす必要がありました。これには、京都の警備を行う京都大番役や鎌倉の警備を行う鎌倉番役、そして有事の際に武装して駆けつける軍役などが含まれます。選択肢にある「執権」は北条氏が世襲した役職であり、「管領」は室町時代の役職であるため、鎌倉時代の一般的な御家人の奉公とは区別する必要があります。 |
| 問2 | 答え 2<br>文永の役・弘安の役 | 13世紀後半、フビライ・ハン率いる元軍は1274年と1281年の二度にわたって九州北部に襲来しました。1274年の襲来を文永の役、1281年の襲来を弘安の役と呼びます。鎌倉幕府は北条時宗を中心にこれに応戦し、暴風雨の影響などもあって元軍を退けました。 |
| 問3 | 答え 2<br>地頭は幕府の権威を背景に現地での支配力を強め、年貢の徴収をめぐって荘園領主と争ったり、農民に武力による不当な要求を行ったりした。 | 地頭は幕府から土地の管理権を与えられた武士ですが、次第に本来の領主である公家や寺社（荘園領主）の支配を脅かす存在となりました。「阿氏河荘の訴状」に記されているような、農民への暴行や強制的な労働、年貢の未納などは、地頭が現地での実質的な支配権（領主化）を狙って引き起こした対立の背景にあります。 |
| 問4 | 答え 1<br>御恩 | 鎌倉時代の主従関係において、将軍が御家人の所領（土地）を安堵したり新恩を給付したりすることを「御恩」と呼びます。北条政子の演説は、この「御恩」を再認識させることで、御家人たちに幕府への忠誠を促す狙いがありました。これに対し、御家人が軍役や警護を果たすことは「奉公」と呼ばれます。 |
| 問5 | 答え 4<br>特定の修行に専念すれば誰でも等しく救われるという、民衆にとって信仰しやすい教えであったこと | 鎌倉新仏教の各宗派は、念仏、題目、座禅といった、一つの作法を徹底して行うことを強調しました。これは、当時の戦乱や飢饉によって精神的な救いを求めていた人々にとって、極めて「わかりやすい」提示でした。旧来の仏教が「学問」や「儀式」を重んじて貴族層に特化していたのに対し、新仏教は日常生活の中で「実行しやすい」修行を提示することで、爆発的に広まったという歴史的背景があります。 |
| 問6 | 答え 2<br>丁稚（でっち）から始まり、番頭（ばんとう）を経てのれん分けを目指す | 江戸時代の商家の奉公人は、子供の頃に「丁稚」として住み込みを始め、成長して実力を認められると「番頭」などの役職に就きました。長年の忠誠と奉公の結果、主人から商号の使用を許されて独立する「のれん分け」が、当時の奉公人にとっての大きな目標となっていました。 |
| 問7 | 答え 4<br>念仏を記した札を受け取ることや、集団で踊りながら念仏を唱えることで、誰もが救われることを示し、爆発的に信者を増やした。 | 一遍の活動は、難しい理屈よりも「札を受け取る」「踊る」という具体的で親しみやすい行動を重視していました。これにより、社会的に不安定な立場にあった当時の民衆の心を掴み、時宗は急速に全国へ広がりました。また、一遍自身が「遊行上人」と呼ばれるように、特定の拠点を持たず民衆の中へ飛び込んでいった姿勢が、鎌倉新仏教の中でも特に民衆的な性格を強める要因となりました。 |
| 問8 | 答え 2<br>フビライ=ハン | モンゴル帝国の創始者であるチンギス=ハンの孫にあたります。中国全土を支配し、国号を元と定めて帝国を拡大させました。日本に対しても服属を求める使節を送りましたが、鎌倉幕府がこれを拒否したため、二度にわたる蒙古襲来（元寇）を指揮することとなりました。 |
| 問9 | 答え 3<br>源氏の将軍が絶えた後も、北条氏は自ら将軍にはならず、将軍を補佐する立場のまま実権を握り続けた。 | 北条氏は源氏の正統な血筋が途絶えた後、皇族や摂関家から形式的な将軍（宮将軍・摂家将軍）を迎え入れ、自らはあくまで「執権」としてその補佐を行う形式をとることで、幕府内での実質的な支配権を確立しました。この体制を執権政治と呼びます。北条氏は御家人の筆頭という立場を維持しつつ、一族で重要ポストを占めることで独裁的な権力を強めていきました。 |
| 問10 | 答え 3<br>六波羅探題 | 承久の乱で幕府軍が勝利したことにより、それまで朝廷の勢力が強かった西日本にも幕府の支配力が及ぶようになりました。これを受けて、幕府は朝廷の動きを常に警戒し、西国の地頭などを統制するために六波羅探題を設置しました。選択肢にある問注所は訴訟裁決を行う機関、京都所司代は江戸時代に朝廷を監視するために置かれた機関であり、混同しないよう注意が必要です。 |
| 問11 | 答え 2<br>荘園や公領での土地の管理や、年貢の徴収、治安維持といった実務を担い、武士の経済的基盤を固めた。 | 地頭は、単なる兵士としてではなく、土地の管理権と年貢の徴収権という経済的な権限を与えられた点が重要です。これにより、鎌倉幕府は御家人（将軍と主従関係を結んだ武士）に対して土地の支配権を保障する「本領安堵」を実効性のあるものにでき、武家社会の安定につながりました。 |
| 問12 | 答え 3<br>金剛力士像 | 鎌倉時代初期の彫刻は、武士の気風を反映して、それまでの平安時代の優美な様式とは異なる力強く写実的な作風が特徴です。東大寺南大門にあるこの像は、運慶や快慶といった慶派の仏師たちによって制作されました。左右に「阿形（あぎょう）」と「吽形（うんぎょう）」の二体一対で安置されています。 |
| 問13 | 答え 3<br>マルコ・ポーロ | ベネチア出身の商人であるマルコ・ポーロは、陸路でアジアを訪れて元に滞在し、皇帝フビライに約17年間仕えました。帰国後に彼が口述した見聞録である『世界の記述（東方見聞録）』は、当時のヨーロッパの人々に未知のアジアへの関心を抱かせる大きなきっかけとなりました。 |